



今回の表紙は車いすツインバスケットの活動をされているトモキ・マドリードの練習風景です。



毎月第4木曜日の 16時から3階体育室で活動しています。興味がある方は遊びに来てください。

夏号の主な内容

2～3ページ：児童発達支援センター さくらんぼ園
親子通園部門（きりん組）の紹介
職員紹介：総務課課長 林田博 相談員 宮崎涼子

「伝わる」ということ

事務局長 荒木 秀利

「どうすれば伝わるか？」

このコミュニケーションの本質は、四十年以上も人と向き合って働き続けているのに、未だに悩みの種となっている私の課題です。

奥深い山中に一人っきりで暮らす人でない限り、コミュニケーションなくして社会生活を営むことはできません。得手不得手はともかく、ただ単に伝えることはできても、人の理解を得たり、動いてもらうには、「伝わる」ということが何よりも重要であると思っています。

では、どうすれば伝わるのか？悩みの種は依然として目の前にぶらさがったままです。

確かに、相手にしっかりと伝わるように話の筋道を立てて、論理的にそして分かりやすく伝えることは当たり前のことですが、どんな技術をもってしても「感情」ぬきにして伝わることはありません。

感情という言葉は「想い」と言い換えてもよいでしょう。内容を伝えることよりも想いを伝えることを重視することが、コミュニケーションの本質に近づく一歩ではないかと思うのです。

また、別の視点では「聴く」ことの重要性も見逃せません。伝え上手な人は「聴く」力が優れていると言われます。「聞く」という自然な受け身の行為ではなく、心の声に耳を傾ける「聴く」という気配りの姿勢も決して忘れてはならないことです。

人と人之间で意思の疎通が行われ、互いが理解し合う関係性は、もちろん片方の想いや努力だけで構築できるものではないですが、そんな小さな一つ一つが積み重なれば、いつかは人に優しい社会が形成されていくことも夢じゃないのではないかと考えます。

以上、自身ができていないことを語りましたが、せめてハートセンターという小さな社会の中だけでも、そんな社会にならないかという希望くらいは持ち続けたいと思います。



親子通園部門 (きりん組)

きりん組とは？

小学校に就学する前のお子様を通う親子療育のクラスです。きりん組では、子ども達の苦手なこと、困っていることなどに、いろいろな遊びや活動を通して楽しみながら少しずつ挑戦していきます。(週1回～月2回の頻度で通います。)

きりん組に通うきっかけは、落ち着きがない、気持ちの切り替えが難しい、お友だちと上手く関われない等さまざまです。子ども達一人一人に合わせた活動内容を提供するため、現在16のグループに分かれています。

親子で「できた!」という体験をたくさん積んでいただけるよう、スタッフがサポートします。

★きりん組のプログラム(例)★

きりん組には午前と午後のグループがありますが、ここでは毎週月曜日午前の「りんごグループ」のプログラムを紹介します。

9:30	検温・トイレ 運動遊び・サーキット
10:05	お茶 親子体操・ふれあい遊び等
10:20	お集まり
10:35	主活動(ゲーム・製作等)
10:55	お楽しみ (紙芝居・絵本・ペープサート等)
11:00	帰りのご挨拶

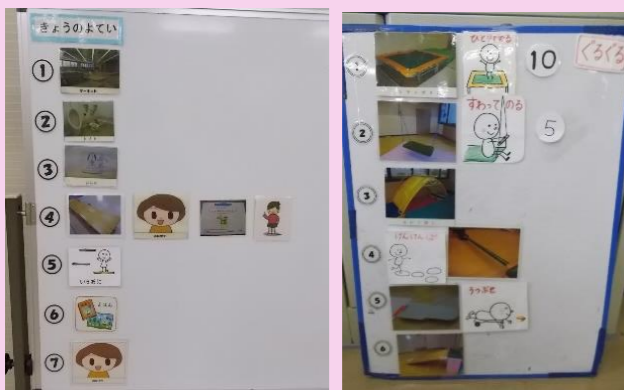
プレイルーム(写真左上)で楽しく体を動かして遊びます。ダイナミックな運動(写真右下)や、バランスを必要とする運動(写真左下)、協調運動などを取り入れています。



保育室(写真右上)で行う主活動の内容はその日によって様々です。ゲームや製作など子ども達が取り組みやすい遊びを通して、相手の気持ちや状況の理解、気持ちの伝え方や切りかえ方、集団生活に必要なことを練習します。

製作の課題ではのりやハサミなどの道具の使い方や、指示を聞いて手順を理解するなどの練習にも取り組みます。一人一人のペースに応じてスモールステップで取り組めるように課題を設定しています。

活動は、見通しが立ちやすくなるように、絵カードを利用したスケジュールボードで提示しています。



★活動の様子(療育支援)★



←運動あそび(みかんグループ)
保護者や保育者とふれあいながら、やりとりの相手を意識できるようにしています。



←机上課題(みかんグループ)
「ちょうだい」「どうぞ」など簡単なやりとりを取り入れながら、手先を使った遊びに取り組んでいます。

★活動の様子(保護者支援)★

ペアレントプログラム(ひよこグループ) → 今年度から実施しています。楽しく子育てのコツを学びます。



←スライムあそび(ひよこグループ)
スライムの感触を楽しみながら、握る・ひねる・ちぎるなど様々な手先の使い方を体験しています。

～きりん組に通ってみてよかったこと～ (保護者様の声)

- 座って先生の話を聴いたり、課題が出来るようになった。
 - 体を使って遊具等で遊べるようになった。
 - 我慢することができるようになった。
 - 製作の際に、集中して取り組めるようになった。
- (ひよこグループにて実施/年中・年長児)

きりん組を利用するにあたって

- 利用開始前に見学や体験をすることができます。まずはお電話ください。
- 利用契約の際には、受給者証が必要となります。受給者証の申請につきましては、最寄りの相談支援事業所の相談支援専門員もしくは市の障害福祉課までお尋ねください。
- その他、ご不明な点、詳細についてはお尋ねください。

問い合わせ先：長崎市障害福祉センター
TEL：(代表)095-842-2525
FAX：095-842-2568

※さくらんぼ園(単独通園児)の特集については次回以降掲載の予定です。

ワンポイント手話講座

七夕



両手で指文字「7」を示しながら同時に上下で手首を返す。

休み



手のひらを下にした両手を閉じる。

連休



両手のひらを下に向け、繰り返し閉じるようにして左から右へ動かす。

職 ★ 員 ★ 紹 ★ 介

① **仕事の内容**：総務課の仕事は、当法人の経理や庶務・人事・施設の備品の維持・管理・統計など法人運営の全般的なものを担当しています。

② **趣味・特技**：以前よりスポーツをすることが少なくなった分、読書をするようになりました。内容は小説というより実用的な本、自分が興味を持つような本などを見つけて読んでいます。

③ **今おすすめなこと**：

これまでも人との縁に支えられて、仕事を含め取り組んできました。特に仕事は一人ではできないので、周りの人とのコミュニケーションをしっかりと図りながら取り組んでいくことが大事ですね。



総務課課長
はやし たかし
林田 博

① **仕事の内容**：保護者の方からお子様の発達や集団生活での困りごとなどについて相談を受け、当診療所での発達外来の日程調整を行い、それから療育支援に繋げるなど、一連の相談業務に携わっております。ハートセンター内の各スタッフとの連携を大切に、毎日勉強中です。

② **趣味・特技**：

ミュージカル観劇、ドライブ

③ **今おすすめなこと**：

季節的には、「うなぎ」…でしようか。うなぎを食べに行くときは、諫早まで出かけたりします！



相談員
みやざき りょうこ
宮崎 涼子

【スポーツレクリエーション等】

行 事 名	日 に ち	場 所
レクリエーション大会	10月11日(金) 10:00~12:00	体育室

【趣味・文化講座】

行 事 名	日 に ち	場 所
お菓子づくり講座	9月4日(水) 15:00~16:30	調理訓練室
料理講座 【全3回コース】	10月4日、11日、18日 (いずれも金曜日) 10:00~13:00	調理訓練室

【スポーツ講座、研修・セミナー講座】

講 座 名	日 に ち	場 所
ヒップホップダンス講座	8月5日(月) 13:30~15:00	体育室
盲・ろう者へのサポート方法を学ぼう!!	8月21日(水) 10:00~16:00	研修室
防災セミナー	9月27日(金) 13:30~15:30	研修室

※リボンダンススクール講座は小学校低学年以下が対象になります。詳細については、1階窓口までお問合せください。

文化祭について

今年の文化祭は、11月17日(日)に開催する予定です。ステージ部門・展示部門への参加ご協力をお願いします。

★お知らせ★

H31年2月26日より、長崎市障害福祉センターの送迎車に新しく車いす対応の軽自動車が増えました。主に成人の機能訓練ご利用者の送迎に使用します。よろしくお願ひします。



【休館日】

毎月第4日曜日 7/28、8/25、9/22

発行：社会福祉法人 長崎市社会福祉事業団 広報委員会
住所：〒852-8104 長崎市茂里町2-41
TEL：095-842-2525 FAX：095-842-2568
ホームページURL：<http://www.nc-swc.or.jp>

編集後記：24号いかがでしたでしょうか？これからますます暑くなって来ますが、暑い夏を頑張って乗り切りましょう。